

## インターバンクの声（2016年12月16日）

米連邦準備制度理事会 (FRB) は予想通り 1 年ぶりの利上げを決めたが、昨日の円相場は東京市場が始まる前の時点で既に利上げ発表前の 115 円台前半から 117 円台前半へと円売りが進んでいた。その後も円売りは続き、9 時過ぎには日中の高値圏だった 117 円 80 銭台を付けた。昼前に一旦 117 円台前半まで円を買戻す調整があったものの、夕方までドルの上値が 117 円 80 銭台で抑えられていたこともあって、さすがにそろそろドル売りに向かうほうが勝機があると見込んだ投資家も多かった。

しかし、結局は海外市場でも円売りが続き、ロンドン市場の昼前には 118 円 60 銭台まで円が売り込まれた。FRB の利上げ決定前の水準から一日も経たないうちに約 3 円超も円売りが進んでしまった。ほぼ 10 ヶ月ぶりの 118 円台回復だが、市場では円を買い持ちにしたままの投資家も少なくないようで、週末に差し掛かっていることを考えると、いよいよ耐え切れなくなったストップが入ってくる可能性もある。昨夜のドルは対ユーロや豪ドルでも一段高となっており、ドルの全面高の様相だ。ここは目をつぶってでもドル買いに向かったほうが良さそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。